

## ご 注 意

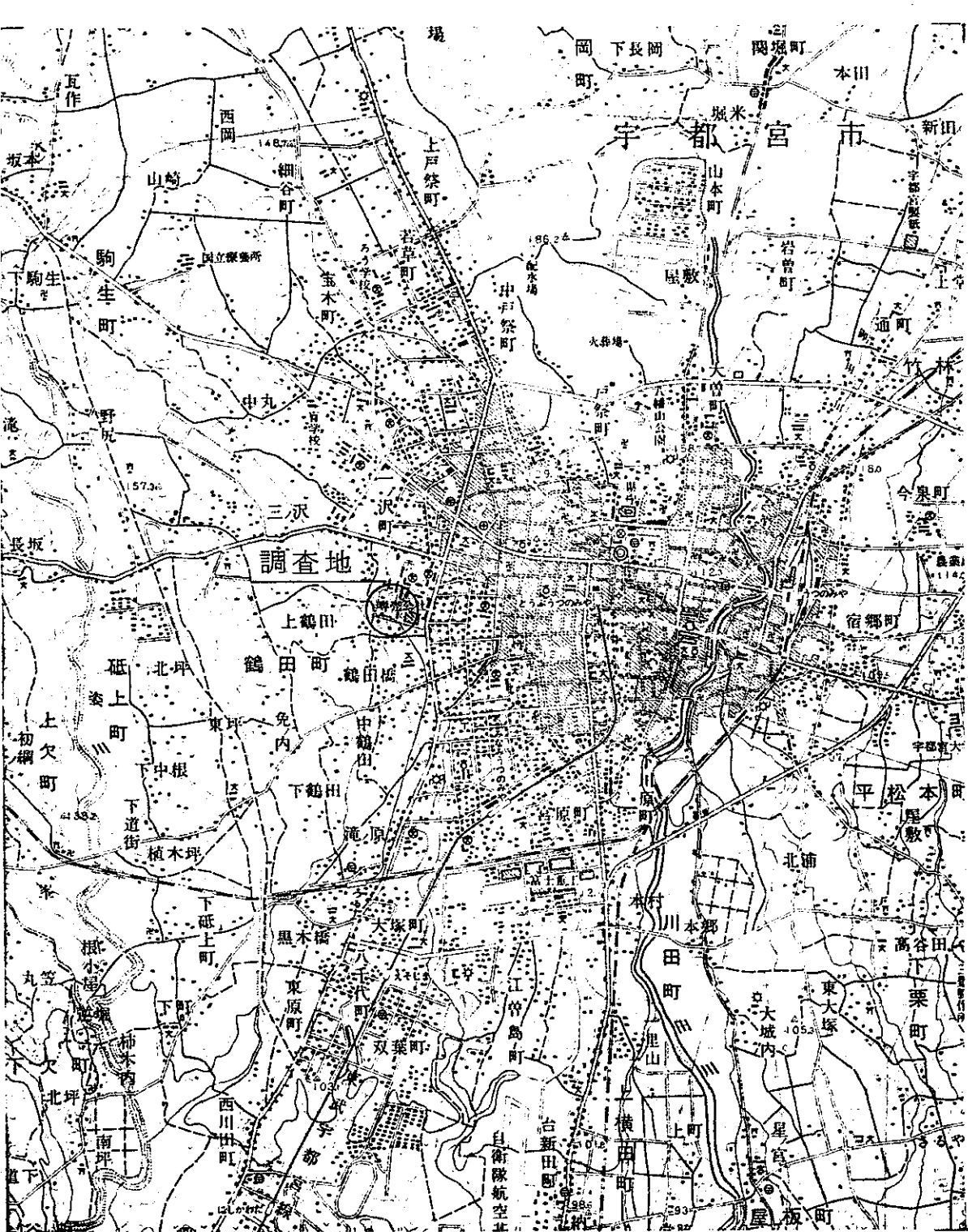
地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課

# 調査地案内図



1 : 50,000



期間 昭和54年11月12日 ~ 11月13日

(孔内)水位 -5.45m

調査担当者

深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	土質	土性		備考	(註) 試料			原位置試験深度 (m)	標準貫入試験							
				色調	相対稠度		番号	記号	採取深度 (m)		打撃回数							
											10	20	30	40	50	60	70	
0.30	0.30		益土	暗褐														
				黒	非常に細かい	植物混入 木草の根等を混入				1.15	2							
1.70	1.40		表土	灰						1.45	2							
				茶		幾分砂質を混入				2.15	3							
2.80	1.10		□-△	褐		幾分粘性あり				2.45	3							
			V	黄		含水あり				3.15	1							
3.70	0.90		V V	浮石粒	褐	粒径不均質				3.45	1							
				茶	柔らかい	幾分粘性あり				4.15	2							
				茶	中位	下部砂質分を多く混入				4.45	2							
5.50	1.80		□-△	褐		下部砂質分を多く混入				5.15	3							
				茶	中位	礫径20~30%内外				5.45	3							
6.50	1.00		●	礫混り砂	暗	7.60m附近礫径50%内外				6.15	19							
				暗	非常	8.00~8.60m附近まで粘土質多い				6.45	19							
				茶	非常に	8.60~10m附近まで茶灰色				7.15	43							
				茶	密	9.00m附近より礫径30~40%内外のもの多い				7.45	43							
				茶	な	10.80m附近に約50%内外の玉石介在				8.15	48							
				茶		11.40~11.80mに礫径50~70%				8.45	48							
				茶						9.15	50							
				茶						9.24	9							
				茶						10.15	50							
				茶						10.33	18							
				茶						11.15	50							
				茶						11.32	17							
				茶						12.15	50							
12.31	5.81		砂	礫						12.31	16							

(註) ○ 標本試料 ■ 乱した試料 □ 乱さない試料

期間 昭和 54年 11月14日 ~ 11月16日

(孔内)水位 -6.40m

調査担当者

深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	土質	土性		備考	(註) 試料			原位置 試験深度 (m)	標準貫入試験						
				色調	相対密度		番号	記号	採取深度 (m)		打撃回数						
											10	20	30	40	50	60	70
1.80	1.80	△	盛土	暗褐色	非常に柔らか	木、草の根等を混入。ローム、浮石粒等による盛土				1.15	1						
	0.40			表土	黒灰					〃	フ植物混入	1.65	50	○			
2.20	0.40	△	ローム	茶褐色	柔らかい	幾分粘性あり。下部砂質を混入。浮石粒混る				2.15	2	○					
3.50				1.30	□					黄褐色	非常に柔らか	含水あり	2.45	2	○		
4.70	1.20	VV	浮石粒	茶褐色	中位	幾分粘性あり。下部砂質を混入。6.00m附近に10%内外の小礫混入				3.15	3	○					
6.45				1.75	□					暗灰色	非常に密	礫径20~30%内外のもの多い。含水あり。7.70m附近に礫径50%内外あり。8.50m附近に礫径50%内外あり。8.80m~9.50m附近まで小礫多く粘土質を介入	3.45	3	○		
12.30	5.85	○	砂礫	暗灰色	非常に密	礫径60%内外。10.30m附近に礫径70%内外。10.80m附近に礫径50%内外。礫径30~40%内外のもの多い。粘土質を介入				4.15	4	○					
				5.45	4					○							
				6.15	8					○							
				6.45	8					○							
				7.15	50					○							
				7.38	23					○							
				8.15	50					○							
				8.39	24					○							
				9.15	47					○							
				9.45	47					○							
				10.15	50					○							
				10.28	13					○							
11.15	反発	○															
12.15	50	○															
12.30	15	○															

(註) ○ 標本試料 ■ 乱した試料 □ 乱さない試料

期間 昭和54年11月16日 ~ 11月20日

(孔内)水位 -6.95m

調査担当者

深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	土質	土性		備考	(註) 試料			原位置 試験深度 (m)	標準貫入試験								
				色調	相対密度		番号	記号	採取深度 (m)		打撃回数								
											10	20	30	40	50	60	70		
2.35	2.35		盛土	暗褐色	非常に柔らかい	草木の根等混入。植物混入。ローム、浮石粒等による盛土				1.15									
2.70	0.35		土	黒灰	〃	植物混入				1.45									
3.70	1.00		ローム	茶褐色	〃	幾分砂質を混入所々に浮石粒を混入する				2.15									
4.70	1.00		浮石粒	黄褐色	〃	含水あり 粒子不均質				2.45									
7.25	2.55		ローム	茶褐色	中位	幾分砂質を混入。6.00m附近より粘性あり				3.15									
12.24	4.99		砂礫	茶灰色	非常に密な	礫径30%内外のもの多し。幾分粘土質を介入。8.40mに硬質礫あり。8.80m附近に50%の礫あり。9.00m附近幾分砂多し。礫径30%内外のもの多し。所々に礫径50%内外のものあり。11.60m附近に径120%内外の玉石介在				3.45									
										4.15									
										4.45									
										5.15									
										5.45									
										6.15									
										6.45									
										7.15									
										7.45									
										8.15									
										8.39									
										9.15									
										9.45									
										10.15									
										10.30									
										11.15									
										11.24									
										12.15									
										12.24									

(註) ○ 標本試料 ■ 乱した試料 □ 乱さない試料

期間 昭和54年11月8日 ~ 11月10日

(孔内)水位 -7.20m

調査担当者

深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	土質	土性		備考	(註) 試料			原位置度 試験深度 (m)	標準貫入試験							
				色調	相対密度		番号	記号	採取深度 (m)		打撃回数							
											10	20	30	40	50	60	70	
1.80	1.80		盛土	茶	非常に柔らかい	ロ-ム.浮石粒黒土混り埋土.竹の根等混入.逃水あり				1.15 1.45	1							
2.70	0.90		表土	黒灰	"	フ植物混入				2.15 2.45	2							
3.80	1.10		ロ-ム	茶	柔らかい	幾分粘性あり所々に浮石粒を混入				3.15 3.45	3							
4.60	0.80	V V	浮石粒	茶	非常に柔らかい	粒子不均質逃水あり.含水あり				4.15 4.65	4							
6.10	1.50		ロ-ム	茶	柔らかい	幾分粘性あり				5.15 5.45	5							
6.25	0.15		粘土	"	柔らかい	砂質を含む				6.15 6.45	6							
6.60	0.35		粘土	"	中位	上部砂質を混入粘性あり				7.15 7.45	7							
7.50	0.90		ロ-ム	"	中位	砂径30-40%内外のもの多い.含水あり.10m附近砂径20-30%内外のもの多い.含水あり				8.15 8.42	8							
			砂	茶	非常に柔らかい	下部粘土質を混入最大砂径50%内外				9.15 9.25	9							
12.41	4.91		砂	灰	非常に柔らかい					10.15 10.43	10							
			砂	色	非常に柔らかい					11.15 11.38	11							
			砂							12.15 12.41	12							

(註) ○ 標本試料 ■ 乱した試料 □ 乱さない試料

形 摘要

期間 昭和54年11月12日 ~ 11月14日

(孔内)水位 -2.65m

調査担当者

深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	土質	土性		備考	(註) 試料			標準貫入試験							
				色調	相対密度		番号	記号	採取深度 (m)	原位置試験深度 (m)	打撃回数						
											10	20	30	40	50	60	70
0.00				茶	柔	木皮丸太屑、 ンが介入				1.15	3						
2.00	2.00		盛土	褐	かい	ローム質、小 礫				1.55	40						
3.20	1.20		表土	黒	〃	フ植物混入				2.15	3						
3.60	0.40		表土 礫混り粘土	灰	〃	〃				3.15	3						
				茶灰	〃	含水あり、礫径10% 礫径30%内外 のもの多い				3.50	35						
				茶灰色	非	5.00m附近茶 褐色を呈す				4.15	48						
				褐色	常	6.00m附近5') 青灰色を呈す				4.45							
				青	密	6.50m~7.50m 附近まで逃水あり				5.15	50						
				灰	な	礫径30%内外 のもの多い、最大礫 径50%内外、2.10 mより粘土質混入、礫 径30%内外のもの多				5.45	50						
				色						6.15	50						
										6.22	7						
										7.15	50						
										7.30	15						
										8.15	50						
										8.30	15						
										9.15	50						
										9.24	9						
10.45	6.85		砂礫							10.15	37						
										10.45							

(註) ○ 標本試料 ■ 乱した試料 □ 乱さない試料

形 摘要

期間 昭和54年11月15日 ~ 11月16日

(孔内)水位 -2.10m

調査担当者

深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	土質	土性		備考	(註) 試料			原位置 試験深度 (m)	標準貫入試験						
				色調	相対密度		番号	記号	採取深度 (m)		打撃回数						
											10	20	30	40	50	60	70
1.50	1.50		盛土	茶褐色	非常に柔らかい	上部0.30mまで岩砕ロ-ム質、汚石混り岩砕				1.15 1.45	2						
2.55	1.05		表土	黒色	柔らかい	植物混入				2.15 2.45	3						
				茶褐色	密な	2.70m附近に径10%内外の玉石介在。礫径20%内外のもの多し。粘土質を介する。				3.15 3.41	50 26						
				暗灰色	非常に密な	5.00m附近茶灰色を呈す。				4.15 4.45	36						
				茶灰色	非常に密な	7.00m~8.00m附近含水あり。礫径30%内外のもの多し。				5.15 5.45	35						
				茶灰色	非常に密な	9.00m附近粘土質多し。				6.15 6.33	50 18						
				茶灰色	非常に密な	10.00m附近含水あり。礫径20-30%内外のもの多し。				7.15 7.45	39						
10.22	7.67		砂 礫							8.15 8.40	50 25						
										9.15 9.45	24						
										10.15 10.22	50 7						

(註) ○ 標本試料 ■ 乱した試料 □ 乱さない試料



形 摘要

期間 昭和54年11月6日 ~ 11月7日

(孔内)水位 GL - 1.80 m

調査担当者

深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	土質	土性		備考	(註) 試料			原位置試験深度 (m)	標準貫入試験							
				色調	相対密度		番号	記号	採取深度 (m)		打撃回数							
											10	20	30	40	50	60	70	
1.00	1.00		盛土	褐色	非常な	ローム質及び岩屑による盛土				1.15								
2.20	1.20		表土	黒灰	"	上部に植物混入下部に粘分粘性あり				2.15								
				茶	密な	3.00m附近は暗褐色を呈す。4.00m附近は黄褐色を呈す。4.60m附近に礫径80%内外の礫の介在する。5.00m附近青灰色を呈す。含水多し。礫径40-50%内外のもの多し。6.00m附近幾分含水あり。7.70m附近に礫径130%の玉石介在する。8.00m附近暗褐色を呈す。				3.15								
				褐色	非常に密な					3.45								
										4.15								
										4.45								
										5.15								
										5.45								
										6.15								
										6.34								
										7.15								
										7.45								
8.35	6.15		砂礫							8.15								
										8.35								

(註) ○ 標本試料 ■ 乱した試料 □ 乱さない試料

期間 昭和54年11月2日 ~ 11月5日

(孔内)水位 GL - 1.40 m

調査担当者

深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	土質	土性		備考	(註) 試料			標準貫入試験						
				色調	相対密度		番号	記号	採取深度 (m)	原位置試験深度 (m)	打撃回数					
										10	20	30	40	50	60	70
0.80	0.80		盛土	暗褐		ローム質(浮石混)岩層に与る粘土透水あり				1.15	2					
			表土	黒灰	柔らかい	フ植物混入 下部粘性あり				1.45						
2.00	1.20			茶褐色	非常に密な	2.00m附近黄褐色を呈す. 2.80m~3.40m附近まで砂分多い. 礫径30~40%のもの多い.				2.15	15					
				茶褐色	密な	4.00m附近礫径30~40%内外. 5.00m附近20~30%内外の礫9多い. 6.00m附近より粘土質を多く混入. 7.00m附近は多く含水あり.				2.45						
				茶褐色	密な	7.50m附近礫径60%内外を介在する. 全般的に礫径30%内外のもの多い. 9.50m附近に礫径70%内外を介在する				3.15	50					
				茶褐色	密な					3.42	27					
				茶褐色	密な					4.15	50					
				茶褐色	密な					4.40	25					
				茶褐色	密な					5.15	47					
				茶褐色	密な					5.45						
				茶褐色	密な					6.15	36					
				茶褐色	密な					6.45						
				茶褐色	密な					7.15	28					
				茶褐色	密な					7.45						
				茶褐色	密な					8.15	35					
				茶褐色	密な					8.45						
				茶褐色	密な					9.15	50					
				茶褐色	密な					9.41	26					
10.35	8.35		砂 礫							10.15	50					
										10.35	20					

(註) ○ 標本試料 ■ 乱した試料 □ 乱さない試料

形 摘要

期間 昭和54年11月8日 ~ 11月10日

(孔内)水位 GL - 1.60 m

調査担当者

深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	土質	土性		備考	(註) 試料			原位置 試験深度 (m)	標準貫入試験						
				色調	相対密度		番号	記号	採取深度 (m)		打撃回数						
											10	20	30	40	50	60	70
1.60	1.60		盛土	暗褐色	非常に柔らかい	上部0.60m附近まで砂利、コンクリート屑、アスファルト屑による埋土 下部ローム層	1		1.15	3							
2.80	1.20		表土	灰茶	"	フ植物混入 下部幾分粘性あり	2		2.15	2							
3.70	0.90		粘土	灰茶	"	粘性あり 砂質を混入	3		3.15	1							
				黄褐色	中位	礫径30~40%内外のもの多い 5.5m附近より逃水あり。最大礫径50%程度	4		4.15	20							
				黄褐色	中位	7.50m附近より逃水あり。	5		5.15	26							
				青色	非常に密な	礫径30~40%内外のもの多い	6		6.15	26							
				灰茶	非常に密な	8.00m附近暗褐色を呈す 含水あり	7		7.15	50							
				灰茶	非常に密な	礫径30~40%内外のもの多い	8		8.15	30							
				灰茶	非常に密な	礫径30~40%内外のもの多い	9		9.15	50							
10.30	6.60		砂礫				10		10.15	50							
									10.30	15							

(註) ○ 標本試料 ■ 乱した試料 □ 乱さない試料

形 摘要

期間 昭和54年11月17日 ~ 11月20日

(孔内)水位 -2.70m

調査担当者

深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	土質	土性		備考	(註) 試料			原位置 試験深度 (m)	標準貫入試験						
				色調	相対密度		番号	記号	採取深度 (m)		打撃回数						
											10	20	30	40	50	60	70
1.55	1.55		盛土	茶灰	中位	碎石, 大谷石屑等による盛土				1.15 1.45	5						
2.80	1.25		表土	黒灰	非常な茶ゆるい	フ植物混入				2.15 2.50	2 3						
3.70	0.90		礫混り砂	茶褐	ゆるい	20%内外の礫介入含水あり。残分粘土質混入				3.15 3.45	6						
				青灰茶褐	密な	4.00m附近含水あり逃水あり。礫径20%~30%内外。5.00m附近より茶褐色を呈す。5.00m~6.00m含水あり。最大礫径50%内外。6.50m附近より逃水あり。				4.15 4.45	41						
				茶		6.90m附近に礫径70%内外のもの介入。礫径20~30%内外のもの介入。				5.15 5.45	47						
				灰	非常に密な	10.00m附近まで含水あり。11.00m附近紫灰色を呈す。粘土質介入する。				6.15 6.45	26						
				色		12.00m附近含水あり。12.00m附近逃水あり。				7.15 7.38	50 23						
						12.60m附近に径130%の玉石介入				8.15 8.45	38						
13.29	9.59		砂 礫							9.15 9.34	50 19						
										10.15 10.45	39						
										11.15 11.38	50 23						
										12.15 12.30	50 15						
										13.15 13.29	50 14						

(註) ○ 標本試料 ■ 乱した試料 □ 乱さない試料

形 摘要

期間 昭和54年11月2日 ~ 11月6日

(孔内)水位 GL-1.80m

調査担当者

深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	土質	土性		備考	(註) 試料			原位置 試験深度 (m)	標準貫入試験								
				色調	相対稠度		番号	記号	採取深度 (m)		打撃回数								
											10	20	30	40	50	60	70		
1.20	1.20		盛土	暗褐色	非常な	ローム質及び岩層による盛土				1.15	2								
2.60	1.40		表土	黒灰	柔かい	上部含水あり。所々に砂質を混入し植物混入下部粘性あり				2.15	4								
				緑灰青色茶灰色	中位	礫径20~30%内外。所々茶灰色を混入。3.70m~5.00m附近まで礫径40~50%内外のもの多い。含水あり。6.00m附近より茶灰色を呈す。7.30m~8.20m附近まで透水激しい。最大礫径80%内外礫径40~50%内外のもの多い。9.00m附近茶褐色を呈す。9.00m附近含水あり。				3.15	14								
					非常に密な					4.15	21								
					密な					4.45									
										5.15	31								
										5.45									
										6.15	50								
										6.37	22								
										7.15	50								
										7.45									
										8.15	反発								
										9.15									
										9.45	37								
10.45	7.85		砂礫							10.15	29								
										10.45									

(註) ○ 標本試料 ■ 乱した試料 □ 乱さない試料

栃木県立博物館新築工事第一次地盤調査地質柱状図(NO. 1)

A-20 ①

調査地点 栃木県宇都宮市睦町栃木県中央公園内  
 調査年月日 昭和54年 8月23日～8月24日

標高 E.L + 125.096 m  
 孔内水位 G.L - 4.75 m

標尺 m	標高 m	深 度 m	層 厚 m	柱 状 図	色 調	地 質 名	観 察	相 対 密 度	相 対 稠 度	標 準 貫 入 試 験					試 料 採 取 方 法	試 料 採 取 深 度 m						
										深 度 m	N 値 回/cm	10cm毎の 打撃回数					N 値					
											10	20	30	0	10	20	30	40	50			
1					茶褐色	ローム (表土)	上部の2.5mには草根及び礫を混入する。均質なロームであり、含水量は少ない。		軟	1.15	4/31	1/2	3/3	2/7								
2	122.60	2.50	2.50						軟	1.46												
3	121.75	3.35	0.85		黄灰色	軽石	φ2-10mm程度の豆状礫を呈している。マトリックスは軽石よりも？ 殆どは水で満たされている。		極軟	2.15	3/34	1/2	1/1	1/1								
4	120.25	5.85	1.50		茶灰色	ローム	全般に均質なロームである。含水量は少なく、粘性に乏しい。		極軟	2.49												
5	119.80	5.30	0.45		暗黄灰色	細砂	粒径は均一で含水量は多い。	密	極軟	3.15	1/31		1/31									
6							φ2-86mm程度の豆状礫が主体で、より大きな礫も多く含まれる。マトリックスは非常に不均質である。		密	3.46												
7							7.25-7.50m間に砂が多い。		密	4.15	2/33	1/17	1/16									
8							砂の粒子は粗く、含水量は中位である。	極密	極密	4.48												
9								極密	極密	5.15	32/30	6	4	22								
10					淡茶灰色	砂 礫		極密	極密	5.75												
11								極密	極密	6.15	34/30	12	10	12								
12								極密	極密	6.45												
13								極密	極密	7.15	35/30	18	12	18								
14	110.82	14.28	8.98					極密	極密	7.45												
15								極密	極密	8.15	42/30	12	14	16								
16								極密	極密	8.45												
17								極密	極密	9.15	50/11	45	5	1								
18								極密	極密	9.26												
19								極密	極密	10.15	50/18	21	23	8								
20								極密	極密	10.33												
								極密	極密	11.15	50/22	26	24									
								極密	極密	11.35												
								極密	極密	12.15	50/22	15	18	1/2								
								極密	極密	12.37												
								極密	極密	13.15	50/21	17	18	5/1								
								極密	極密	13.36												
								極密	極密	14.15	50/13	40	12	2								
								極密	極密	14.28												

(註) 1. 試料採取方法の記号 (記号の右の数字は試料番号)

- 1 乱さない試料
- ◎-2 貫入試験機による試料
- 3 コア試料

2. 試料採取深度と回収比

$\frac{3.20}{45}$  3.20-3.70 は試料採取深度 (m)  
 $\frac{45}{3.70}$  は回収比 (50cm:貫入深さ, 45cm:試料長さ)

3. 標準貫入試験の項で10cm毎の打撃回数とは最初の10cm貫入に要した打撃回数, 10cm-20cmの間で要した打撃回数, 20cm-30cmの間で要した打撃回数をそれぞれしめたものである。

栃木県立博物館新築工事第一次地盤調査地質柱状図(No. 3)

A-20 ②

調査地点 栃木県宇都宮市睦町栃木県中央公園内  
 調査年月日 昭和54年 8月27日～9月5日

標高 E.L + 125.161 m  
 孔内水位 G.L - 4.70 m

標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	柱状図	色調	地質名	観察	相対密度	相対稠度	標準貫入試験					採取方法	採取深度 m				
										深度 m	N 値 回/cm	10cm毎の打撃回数					N 値			
										10	20	30	40	50						
1	124.56	0.60	0.60		暗褐色	埋土	上部には草根を混入している。φ2~500%の礫を含む。		中軟	1.15	6/30	2/11	2/11	2						
2					茶褐色	ローム	均質なロームである。含水量が非常に少なく、粘性に乏しい。			1.45										
3	122.41	2.75	2.15		黄灰色	軽石	φ2~10%の重円礫状をした軽石からなる。含水量は多い。有色鉱物を含む。			2.15	3/35	1/17	1/8	1/10						
4	121.51	3.65	0.70		黄灰色	軽石	φ2~10%の重円礫状をした軽石からなる。含水量は多い。有色鉱物を含む。			2.50	2		1/16	1/20						
5					茶灰色	ローム	比較的濁った色を呈する。含水量は割に少ない。下部には砂を挟在する。		軟中	3.15	2/36									
6					茶灰色	ローム	比較的濁った色を呈する。含水量は割に少ない。下部には砂を挟在する。			3.51	2/40		1/26	1/14						
7	118.56	6.60	2.95		淡茶灰色 (充填物の色)	砂礫	φ2~8.6%の礫が全体で、より大きい礫も多く含まれている。マトリックスは非常に不均質な砂であり、少量であるため、間隙が多い。含水量は多い。礫自体は殆ど重円礫だが、稀に角礫を含む。		極密	4.15	4	1/35	1/1	2/15						
8					淡茶灰色 (充填物の色)	砂礫	φ2~8.6%の礫が全体で、より大きい礫も多く含まれている。マトリックスは非常に不均質な砂であり、少量であるため、間隙が多い。含水量は多い。礫自体は殆ど重円礫だが、稀に角礫を含む。			5.50	5/30	1/13	1/3							
9					淡茶灰色 (充填物の色)	砂礫	φ2~8.6%の礫が全体で、より大きい礫も多く含まれている。マトリックスは非常に不均質な砂であり、少量であるため、間隙が多い。含水量は多い。礫自体は殆ど重円礫だが、稀に角礫を含む。			6.15	4									
10					淡茶灰色 (充填物の色)	砂礫	φ2~8.6%の礫が全体で、より大きい礫も多く含まれている。マトリックスは非常に不均質な砂であり、少量であるため、間隙が多い。含水量は多い。礫自体は殆ど重円礫だが、稀に角礫を含む。			6.45	4									
11					淡茶灰色 (充填物の色)	砂礫	φ2~8.6%の礫が全体で、より大きい礫も多く含まれている。マトリックスは非常に不均質な砂であり、少量であるため、間隙が多い。含水量は多い。礫自体は殆ど重円礫だが、稀に角礫を含む。			7.15	4	1/50	1/13	1/17						
12					淡茶灰色 (充填物の色)	砂礫	φ2~8.6%の礫が全体で、より大きい礫も多く含まれている。マトリックスは非常に不均質な砂であり、少量であるため、間隙が多い。含水量は多い。礫自体は殆ど重円礫だが、稀に角礫を含む。			7.45	50	1/22	18/23	9/12						
13					淡茶灰色 (充填物の色)	砂礫	φ2~8.6%の礫が全体で、より大きい礫も多く含まれている。マトリックスは非常に不均質な砂であり、少量であるため、間隙が多い。含水量は多い。礫自体は殆ど重円礫だが、稀に角礫を含む。			8.15	50	1/29	16/16	19/19						
14					淡茶灰色 (充填物の色)	砂礫	φ2~8.6%の礫が全体で、より大きい礫も多く含まれている。マトリックスは非常に不均質な砂であり、少量であるため、間隙が多い。含水量は多い。礫自体は殆ど重円礫だが、稀に角礫を含む。			8.37	50	1/24	17/18	15/14						
15					淡茶灰色 (充填物の色)	砂礫	φ2~8.6%の礫が全体で、より大きい礫も多く含まれている。マトリックスは非常に不均質な砂であり、少量であるため、間隙が多い。含水量は多い。礫自体は殆ど重円礫だが、稀に角礫を含む。			9.15	50	1/14	36/14							
16					淡茶灰色 (充填物の色)	砂礫	φ2~8.6%の礫が全体で、より大きい礫も多く含まれている。マトリックスは非常に不均質な砂であり、少量であるため、間隙が多い。含水量は多い。礫自体は殆ど重円礫だが、稀に角礫を含む。			9.44	50	1/15	34/15							
17	107.87	17.29	10.69		淡茶灰色 (充填物の色)	砂礫	φ2~8.6%の礫が全体で、より大きい礫も多く含まれている。マトリックスは非常に不均質な砂であり、少量であるため、間隙が多い。含水量は多い。礫自体は殆ど重円礫だが、稀に角礫を含む。		極密	10.15	50	1/16	19/16							
18					淡茶灰色 (充填物の色)	砂礫	φ2~8.6%の礫が全体で、より大きい礫も多く含まれている。マトリックスは非常に不均質な砂であり、少量であるため、間隙が多い。含水量は多い。礫自体は殆ど重円礫だが、稀に角礫を含む。			10.45	50	1/16	19/16							
19					淡茶灰色 (充填物の色)	砂礫	φ2~8.6%の礫が全体で、より大きい礫も多く含まれている。マトリックスは非常に不均質な砂であり、少量であるため、間隙が多い。含水量は多い。礫自体は殆ど重円礫だが、稀に角礫を含む。			11.15	50	1/16	19/16							
20					淡茶灰色 (充填物の色)	砂礫	φ2~8.6%の礫が全体で、より大きい礫も多く含まれている。マトリックスは非常に不均質な砂であり、少量であるため、間隙が多い。含水量は多い。礫自体は殆ど重円礫だが、稀に角礫を含む。			11.26	50	1/16	31/16							
					淡茶灰色 (充填物の色)	砂礫	φ2~8.6%の礫が全体で、より大きい礫も多く含まれている。マトリックスは非常に不均質な砂であり、少量であるため、間隙が多い。含水量は多い。礫自体は殆ど重円礫だが、稀に角礫を含む。			12.15	50	1/20	15/25							
					淡茶灰色 (充填物の色)	砂礫	φ2~8.6%の礫が全体で、より大きい礫も多く含まれている。マトリックスは非常に不均質な砂であり、少量であるため、間隙が多い。含水量は多い。礫自体は殆ど重円礫だが、稀に角礫を含む。			12.36	50	1/24	17/18	15/14						
					淡茶灰色 (充填物の色)	砂礫	φ2~8.6%の礫が全体で、より大きい礫も多く含まれている。マトリックスは非常に不均質な砂であり、少量であるため、間隙が多い。含水量は多い。礫自体は殆ど重円礫だが、稀に角礫を含む。			13.15	50	1/14	36/14							
					淡茶灰色 (充填物の色)	砂礫	φ2~8.6%の礫が全体で、より大きい礫も多く含まれている。マトリックスは非常に不均質な砂であり、少量であるため、間隙が多い。含水量は多い。礫自体は殆ど重円礫だが、稀に角礫を含む。			13.35	50	1/15	34/15							
					淡茶灰色 (充填物の色)	砂礫	φ2~8.6%の礫が全体で、より大きい礫も多く含まれている。マトリックスは非常に不均質な砂であり、少量であるため、間隙が多い。含水量は多い。礫自体は殆ど重円礫だが、稀に角礫を含む。			14.15	50	1/14	35/14							
					淡茶灰色 (充填物の色)	砂礫	φ2~8.6%の礫が全体で、より大きい礫も多く含まれている。マトリックスは非常に不均質な砂であり、少量であるため、間隙が多い。含水量は多い。礫自体は殆ど重円礫だが、稀に角礫を含む。			14.39	50	1/15	34/15							
					淡茶灰色 (充填物の色)	砂礫	φ2~8.6%の礫が全体で、より大きい礫も多く含まれている。マトリックスは非常に不均質な砂であり、少量であるため、間隙が多い。含水量は多い。礫自体は殆ど重円礫だが、稀に角礫を含む。			15.15	50	1/14	35/14							
					淡茶灰色 (充填物の色)	砂礫	φ2~8.6%の礫が全体で、より大きい礫も多く含まれている。マトリックスは非常に不均質な砂であり、少量であるため、間隙が多い。含水量は多い。礫自体は殆ど重円礫だが、稀に角礫を含む。			15.29	50	1/15	34/15							
					淡茶灰色 (充填物の色)	砂礫	φ2~8.6%の礫が全体で、より大きい礫も多く含まれている。マトリックスは非常に不均質な砂であり、少量であるため、間隙が多い。含水量は多い。礫自体は殆ど重円礫だが、稀に角礫を含む。			16.15	50	1/14	35/14							
					淡茶灰色 (充填物の色)	砂礫	φ2~8.6%の礫が全体で、より大きい礫も多く含まれている。マトリックスは非常に不均質な砂であり、少量であるため、間隙が多い。含水量は多い。礫自体は殆ど重円礫だが、稀に角礫を含む。			16.30	50	1/14	35/14							
					淡茶灰色 (充填物の色)	砂礫	φ2~8.6%の礫が全体で、より大きい礫も多く含まれている。マトリックスは非常に不均質な砂であり、少量であるため、間隙が多い。含水量は多い。礫自体は殆ど重円礫だが、稀に角礫を含む。			17.15	50	1/14	35/14							
					淡茶灰色 (充填物の色)	砂礫	φ2~8.6%の礫が全体で、より大きい礫も多く含まれている。マトリックスは非常に不均質な砂であり、少量であるため、間隙が多い。含水量は多い。礫自体は殆ど重円礫だが、稀に角礫を含む。			17.29	50	1/14	35/14							

(註) 1. 試料採取方法の記号 (記号の右の数字は試料番号)

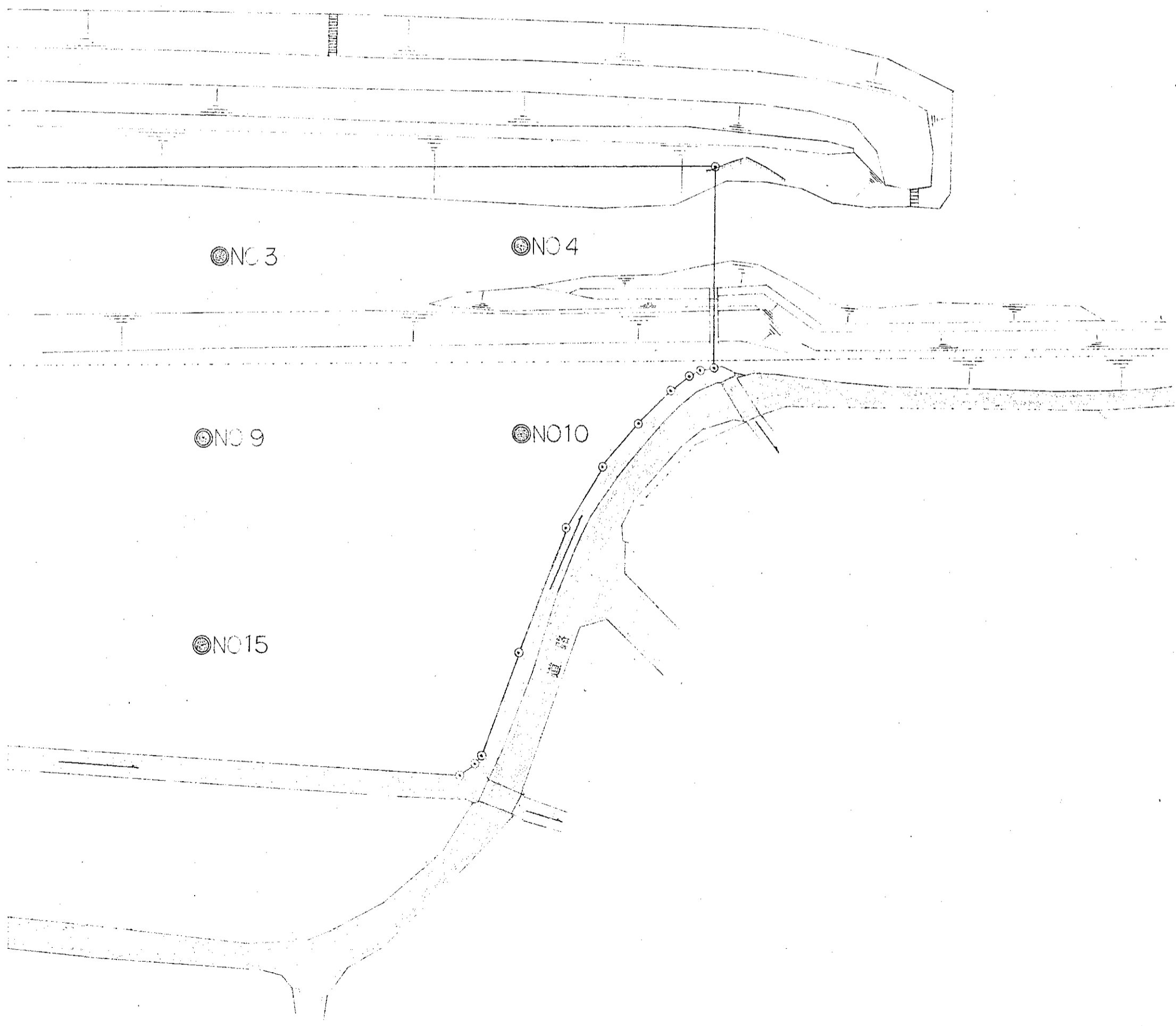
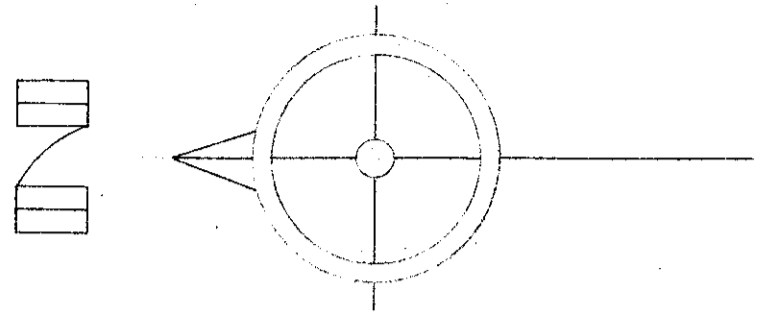
- 1 乱さない試料
- ◎-2 貫入試験機による試料
- 3 コア試料

2. 試料採取深度と回収比

3.20 45	3.20-3.70 は試料採取深度 (m)
50 3.70	45/50 は回収比 (50cm:貫入深さ, 45cm:試料長さ)

3. 標準貫入試験の項で10cm毎の打撃回数とは最初の10cm貫入に要した打撃回数, 10cm~20cmの間で要した打撃回数, 20cm~30cmの間で要した打撃回数をそれぞれしめたものである。

グ位置図





ボーリング

貯水池

◎NO1

◎NO2

◎NO5

◎NO7

◎NC11

◎NO13

貯水池

鶴田川

道路

0.00